

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	富沢・中山
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3516/3531
<b>事務事業名</b>	4209 道路管理事業											
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
<b>施 策</b>	06033300 橋や道路整備の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費										
	<b>事業</b>	010000 道路管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
道路法に定める道路管理者として、安全に配慮した維持管理を目指す。						道路、側溝等の道路施設の維持補修管理を適切に行い、市民理解のもと施設の長寿命化を図りながら道路環境整備と緑化事業を協働で進めて行く。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
道路環境の整備	道路環境の整備
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		8,495	11,768
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	4	8
	地方債	0	0
	その他	11	21
一般財源		8,480	11,739
人員数(人)	正規職員	0.8	0.7
	嘱託職員	0.0	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,766.4	5,045.6
	嘱託職員	0.0	1,352.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,766.4	6,398.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,261.4	18,166.1

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,157	消耗品費、燃料費、修繕料等
13節 委託費	4,765	堤防除草等委託料等
15節 工事請負費	785	街路樹補植工事
19節 負担金補助及び交付金	17	有料道路時間帯割引回数券
その他	771	保険料、手数料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,710	消耗品費、燃料費、修繕料等
13節 委託費	5,375	堤防除草等委託料等
15節 工事請負費	1,800	街路樹補植工事
19節 負担金補助及び交付金	34	有料道路時間帯割引回数券
その他	1,849	保険料、手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	道路法に定める道路管理者として、安全に配慮した維持管理は必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	道路、側溝等の道路施設の維持管理を適切に行っていく	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	地元からの道路、側溝施設の修繕、設置の要望が増加しており、効率的に行うことが重要である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元からの道路、側溝施設の修繕、設置の要望が増加しているが、優先性、効率性を考慮しても対応しきれない。市民の協働で進めている道路環境整備や緑化事業が、年々気候の変化、高齢化の加速により、行き届かなくなってきた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

施設の長寿命化を図るため、適切に維持管理修繕を行う。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

良好な道路環境を確保していくために、道路側溝等の維持管理を適切に継続して進めていく

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--